

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆにぞんほっぷ		
○保護者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8(園/校)	(回答数) 4(園/校)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士/児童指導員経験5年以上の職員を配置している。	・過去の経験を活かし、児童の通学先で円滑に集団活動への参加ができるよう支援を行っている。	・社内外の研修参加を通して、より良い支援の充実に向けて学びを深めていく。
2	・送迎時やモニタリング、LINEを通して保護者と訪問後の様子や課題の共有を行っている。	・日常的に保護者様に通学先等での様子を共有し、課題の洗い出しと、よりよい支援策の模索と実施を行っている。	・訪問先の先生と保護者様を迎えた担当者会議の開催を検討し、より密に情報共有を行い、支援の統一化を目指していきます。
3	・専門職による訪問を通して多方面からの支援が可能	・専門職による専門的視点からの支援を目指して調整を行っています。	・訪問可能な専門職の配置の増幅を検討しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・多職種連携が頻繁に行えていないこと	・専門職の配置数が少ない為。 ・人員配置に余裕がない日が多く、2名での訪問が難しくなっている為。	・ST等の専門職に加え、心理士の配置を検討したい。
2	・保育所側の先生方に当施設での様子を見てもらう機会がほとんどないこと。	・保育所等の先生方も多忙を極めており、ご来所いただくことが難しい為。 ・通所園によっては当施設から遠く、来所が現実的でないこと。	・保育所側から当施設への訪問以来や面談の打診があった際はご来所いただき連携をとっています。
3			